



平成 27 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ファステップス
代表者名 代表取締役社長 川嶋 誠
(コード番号 2338 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役管理部長 村山 雅経
T E L 03-5360-8998 (代表)

エムアンドケイ株式会社の株式及び Plurecil Holdings Limited の出資持分の取得 (子会社化) に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、エムアンドケイ株式会社 (以下、「エムアンドケイ」といいます。) の株式の全部及び Plurecil Holdings Limited (以下、エムアンドケイと併せて「エムアンドケイグループ」といいます。) の出資持分の全部を取得し、両社を完全子会社化すること (以下、「本子会社化」といいます。) について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. エムアンドケイの株式及び Plurecil Holdings Limited の出資持分の取得 (子会社化)

1. 株式及び出資持分の取得の理由

エムアンドケイ及び Plurecil Holdings Limited は、「まつげエクステンション」専門のプロ向け商材の販売、及びまつげエクステンションの施術者を育成するためのスクール事業を行うとともに、まつげエクステンション専門のサロンを運営しております。エムアンドケイグループのサロンは、「プロケアアイラッシュ」のブランドによりまつげエクステンション専門サロンとして富裕層や有名人をはじめ各方面の多くの方々からご好評をいただいております。エムアンドケイグループは東京を中心に全国で直営 10 店舗を運営しております。また、エムアンドケイグループは、「PLURECIL (プルレシル)」ブランドにより、香港において直営 1 店舗を運営しております。さらに、「プロケアアイラッシュ」及び「PLURECIL (プルレシル)」については、上記の直営サロンのほか、フランチャイズにより、全国で 1 店舗、中国で 22 店舗をそれぞれ運営しており、エムアンドケイグループは、積極的なフランチャイズ展開を行うことで、全国及びアジアを中心に店舗拡大を図っております。また、世界を見据えた PLURECIL (プルレシル) ブランドにおいては、商標の登録を (出願中の商標を含む) 日本の他、アメリカ、Asia-Pacific エリア (中国、香港、台湾、韓国、タイ、ベトナム、ミャンマー、シンガポール、マレーシア、インドネシア、インド)、EU (欧州連合加盟 27 カ国)、ロシア、ブラジルの計 42 カ国にまで広げ、既にタイ (3 店舗) ブラジル (1 店舗) にてフランチャイズ展開しており、今後は全世界にて展開することを予定しております。

他方、当社は、システムソリューション事業、メディアソリューション事業及びコストマネジメント事業に加え、美容機器販売やエステサロン運営を行うシェイプファンデ事業を主な事業として行っております。当社において中長期的な成長と安定的・持続的な企業価値向上を実現するには、当社の経営基盤の強化・多角化を図ることが必要不可欠であると認識しており、今後の成長が見込まれるシェイプファンデ事業に対し、より積極的な資源分配を行うことが最善の施策であると考えております。このような認識のもと、当社は、平成 26 年 3 月に、女性用補正下着等の衣料品、ボディケア化粧品及び栄養補助食品等の販売事業並びにエステサロンの運営を主たる事業とする株式会社 NSF (以下「NSF」といいます。) を完全子会社化し、シェイプファンデ事業の拡大・強化を図りました。

当社とエムアンドケイグループとの間では、平成 24 年 8 月に、当社がエムアンドケイグループから予約・受付等に係る IT システムの開発業務を受託して以降、当該システムの保守業務等を通じて良好な取引関係を継続してまいりました。その中で、当社の代表取締役である川嶋誠と、エムアンドケイの代表取締役であり、かつ Plurecil Holdings Limited の出資者である村井幸生氏との間で、両社の事業戦略や資本政策に関する様々な可能性について協議・検討を継続した結果、同氏から、当社のシェイプファンデ事業の拡大・強化のために、エムアンドケイの株式及び Plurecil Holdings Limited の出資持分の全てを当社に譲渡し、エムアンドケイ及び Plurecil Holdings Limited を当社の完全子会社とすることに賛同いただきました。

今般、エムアンドケイグループを完全子会社化することにより、当社のシェイプファンデ事業がさ

らに拡大・強化されるものと考えております。具体的には、エムアンドケイグループ及びNSFの顧客層は共通するため、一方のサービス・商品を他方の顧客に紹介することや同一の店舗において両社のサービス・商品を併せて提供することが可能となり、効率的に事業規模を拡大させることができます。また、上記のとおり、Plurecil Holdings LimitedはNSFの店舗がない中国において複数の店舗を有しているところ、当社のシェイプファンデ事業のグローバル展開を加速させる上での大きな足掛かりになると考えております。

以上のとおり、エムアンドケイグループの事業と当社の事業を統合することにより、大きなシナジー効果が期待でき、結果として当社の経営基盤が強化され、中長期的な成長と安定的・持続的な企業価値の向上に大きく寄与すると考えられることから、エムアンドケイグループを完全子会社化することといたしました。

2. 異動する子会社の概要

①エムアンドケイ

| | | | |
|-------------------------------|-------------------------|--|-------------|
| (1) 名称 | エムアンドケイ株式会社 | | |
| (2) 所在地 | 東京都目黒区碑文谷四丁目24番13号 | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 村井 幸生 | | |
| (4) 事業内容 | 化粧品、美容器具の販売 | | |
| (5) 資本金 | 60,265,000円 | | |
| (6) 設立年月日 | 平成12年3月31日 | | |
| (7) 大株主及び持株比率 | 村井 幸生 70.4% 他親族1名 29.6% | | |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。 | |
| | 人的関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。 | |
| | 取引関係 | 当社は当該会社との間に、システム開発等の取引関係があります。 | |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態(単体) | | | |
| 決算期 | 平成25年3月期 | 平成26年3月期 | 平成27年3月期 |
| 純資産 | 428,474千円 | 495,727千円 | 584,510千円 |
| 総資産 | 597,626千円 | 677,214千円 | 750,396千円 |
| 1株当たり純資産 | 576,681円90銭 | 667,197円02銭 | 786,689円63銭 |
| 売上高 | 888,448千円 | 891,383千円 | 842,800千円 |
| 営業利益 | 181,169千円 | 102,356千円 | 131,136千円 |
| 経常利益 | 184,376千円 | 109,129千円 | 163,904千円 |
| 当期純利益 | 122,791千円 | 67,252千円 | 88,783千円 |
| 1株当たり当期純利益 | 165,264円29銭 | 98,380円31銭 | 119,492円61銭 |
| 1株当たり配当金 | — | — | — |

②Plurecil Holdings Limited

| | |
|---------------|---|
| (1) 名称 | Plurecil Holdings Limited |
| (2) 所在地 | UNIT06, 11/F, SOUNDWILL PLAZA, NO. 38 RUSSELL STREET, CAUSEWAY BAY, HONG KONG |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 村井 幸生 |
| (4) 事業内容 | 化粧品、美容器具の販売 |
| (5) 資本金 | 10万香港ドル (1,579,000円) |
| (6) 設立年月日 | 2011年3月18日 |
| (7) 出資者及び出資比率 | 村井 幸生 100% |

| | | | |
|--------------------------------|--------------------------|---|--------------------------|
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。 | |
| | 人的関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。 | |
| | 取引関係 | 当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。 | |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (単体) | | | |
| 決算期 | 2013年6月期 | 2014年6月期 | 2015年6月期 |
| 純資産 | △653千香港ドル (△10,310千円) | △1,529千香港ドル (△24,142千円) | 333千香港ドル (5,258千円) |
| 総資産 | 4,033千香港ドル (63,681千円) | 5,034千香港ドル (79,486千円) | 5,655千香港ドル (89,292千円) |
| 売上高 | 735千香港ドル (11,889千円) | 1,997千香港ドル (31,532千円) | 4,127千香港ドル (65,165千円) |
| 営業利益 | △520千香港ドル (△8,210千円) | △778千香港ドル (△12,284千円) | 945千香港ドル (14,921千円) |
| 経常利益 | △577千香港ドル (△9,110千円) | △876千香港ドル (△13,832千円) | 1,863千香港ドル (29,416千円) |
| 当期純利益 | △577千香港ドル (△9,110千円) | △876千香港ドル (△13,832千円) | 1,555千香港ドル (24,567千円) |

(注) 1. 2015年6月期は監査前の数値となります。

2. 1香港ドル=15.79円 2015年6月30日の為替レートで換算しております。

3. 株式及び出資持分取得の相手先の概要

①エムアンドケイ

| | |
|-------------------|---|
| (1) 氏名 | 村井 幸生、他親族1名 |
| (2) 住所 | 東京都目黒区 |
| (3) 上場会社と当該個人との関係 | 当社と村井 幸生氏及びその親族との間には、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と村井 幸生氏及びその親族との間には、特筆すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。 |

②Plurecil Holdings Limited

| | |
|-------------------|---|
| (1) 氏名 | 村井 幸生 |
| (2) 住所 | 東京都目黒区 |
| (3) 上場会社と当該個人との関係 | 当社と村井 幸生氏との間には、記載すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と村井 幸生氏との間には、特筆すべき資本関係、人的関係、取引関係はありません。 |

4. 取得株式数・取得出資持分、取得価額及び取得前後の所有株式・持分の状況

| | |
|--------------------|---|
| (1) 異動前の所有株式数・取得持分 | ①エムアンドケイ 0株 (議決権所有割合: 0%) ②Plurecil Holdings Limited 持分所有割合 0% |
|--------------------|---|

| | |
|--------------------|---|
| (2) 取得株式数・取得出資持分 | ①エムアンドケイ 743株 (議決権の数:743個) ②Plurecil Holdings Limited 持分所有割合 100% |
| (3) 取得価額 | エムアンドケイ株式会社の普通株式 1,500百万円 Plurecil Holdings Limitedの出資持分 1百万円 アドバイザー費用等 3百万円(概算額) 合計 1,504百万円(概算額) |
| (4) 異動後の所有株式数・出資持分 | ①エムアンドケイ 743株 (議決権の数:743個)(議決権所有割合:100%) ②Plurecil Holdings Limited 持分所有割合 100% |

(※) エムアンドケイ株式の取得価額については、当社及びエムアンドケイグループから独立した第三者で、株価算定に関する豊富な経験、知見を有している公認会計士1名にエムアンドケイの株価算定を依頼しました。同氏は、エムアンドケイが事業継続を前提としており、その価値は将来の収益力に基づき決定されるべきであることから、インカム・アプローチを採用し、かつ、将来の収益力に基づき企業価値を算定する最も理論的な手法と考えられ、実務でも広く用いられているDCF法を基いてエムアンドケイの株式価値を分析しました。DCF法に基づく算定においては、エムアンドケイが事業計画を作成していないことから、当社がエムアンドケイとの協議に基づき作成した事業計画を用いており、当該事業計画においては、役員の退任による役員報酬等の削減等により、平成28年2月期及び平成29年2月期において大幅な増益を見込んでいます。同氏から取得した平成27年8月31日付株式価値算定書によれば、DCF法において算定されたエムアンドケイの株式価値の総額の範囲は、1,634,577千円から1,964,765千円までと分析されております(なお、エムアンドケイは非公開会社であることから、非流動性ディスカウントとして30%の減価が行われています)。当社は、かかる株式価値算定結果を基に、エムアンドケイの株主であり、また代表取締役でもある村井幸生氏と協議の上、取得価額を上記算定結果の範囲内から更にディスカウントし、1,500百万円とすることで合意いたしました。Plurecil Holdings Limitedの持分の譲渡価格については、2015年6月期の純資産額を時価で評価し、同社の持分を100%所有する村井幸生氏と協議の上、ほぼ同等額の100万円を取得価額とすることで合意いたしました。

(※) 必要な資金の調達方法については、当社グループ内の資金及び本日別途開示しております「第三者割当により発行される株式の募集に関する資金使途および支出時期変更のお知らせ」のとおり、その資金を充当し、契約時に701百万円を支払い、残額800百万円については中期的に分割して支払う予定をしております。

5. 日程

| | |
|----------------------|----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成27年10月15日 |
| (2) 契約締結日 | 平成27年10月15日 |
| (3) 株式取得及び出資持分取得の実行日 | 平成27年11月1日(予定) |

(※) Plurecil Holdings Limitedの持分譲渡には、中国当局の認可が必要となるため、必要な認可が上記実行予定日までに得られない場合には、Plurecil Holdings Limitedの持分譲渡は、必要な認可が得られた後に実行することを予定しております。

6. 今後の見通し

本子会社化が平成28年2月期当社連結業績に与える影響につきましては、当事業年度では、第4四半期から3ヶ月間のみ連結業績に寄与する予定であるため、軽微であります。今後、必要に応じて開示いたします。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 27 年 7 月 10 日公表分) 及び前期連結実績

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に 帰属する当期純利益 |
|------------------------|----------|--------|--------|---------------------|
| 当期連結業績予想 (平成28年2月期) | 7,300百万円 | 170百万円 | 160百万円 | 100百万円 |
| 前期連結実績 (平成27年2月期) | 8,532百万円 | 42百万円 | △97百万円 | △496百万円 |